

陳情第27号	平成23年11月30日受理
付託委員会	文教安全常任委員会
件名	学校給食の放射性物質検査実施に関する件
陳情要旨	
<p>今年3月に起きた東京電力福島第一原子力発電所での事故により私たちを取り巻く水、空気、土、そして農作物が放射能により汚染されました。</p> <p>最近では、食品の放射能汚染の実態が明らかになりつつあります。全体としては検出されない程度の食品も多いものの、時折牛肉などの高濃度汚染の食品が市場に出回り、千葉県や近隣の市町村においても小・中の学校給食の食材としても使用され、提供後にその事実が判明するという非常に残念なことが起きており、私たちは食品の購入や学校給食にも不安を感じざるを得ません。</p> <p>子供は大人と比べて、何倍も放射能に対して感受性が高く影響を受けやすいと言われていています。体内に取り込まれた放射性物質が人間のDNAを傷つけ、細胞分裂の盛んな乳幼児及び子供の将来の発がんのリスクを高めると言われています。日々成長する子供たちには、汚染されていない、安全で、新鮮な食品を摂取することがとても大切です。</p> <p>また、現在の日本の食品等の放射性物質の暫定規制値は、事故直後の緊急対応として、やむ得ず摂取するような際の基準です。この基準は国際的に見ても高い値ですし、この値に安全性の根拠はありません。</p> <p>事故以降の国全体の動きを見ますと、市民の生命や健康を守ることも経済性が優先されていると感じます。とりわけ子供の生命を守ることが最優先にされていないと感じられることに私たち親は強い憤りと失意を持っています。</p> <p>八千代市におきましては、市内の農産物の放射性物質のサンプリング調査を行っており、いずれも検出せず、暫定規制値を下回っているという調査結果を公表されています。</p> <p>八千代市学校給食用賄い材料につきましても教育委員会より産地が公表されており、ホームページより使用される食材の産地が確認できるようになっておりますことを感謝いたします。</p> <p>しかし、目に見えない放射能を安全と確認するには、給食の食材の放射性物質を第三者機関により検査をし、その結果を公表することが保護者の安心を得られる唯一の手だてなのではないでしょうか。</p>	

千葉県内の近隣の自治体及び首都圏（我孫子市、流山市、柏市、千葉市、市川市、横浜市等）においては、既に、独自に給食の放射性物質の検査を実施して市ホームページ等で公表をしています。

また、国全体の動きを見ましても、文部科学省は都道府県が給食食材の放射線量を検査するための機器を購入する際、費用の2分の1程度を補助する方針を決めています。

私たちは、八千代市内の学校給食（保育園も含む）の安全を求める以下の要望をいたします。

記

1. 学校給食の食材を定期的かつ継続的に放射性物質の検査を実施してください。その結果を保護者がわかるように公表してください。